

# 外務省・国際交流基金による コンテンツの海外展開に関する取組



外務省

平成 2 9 年 1 2 月

# 在外公館文化事業

在外公館が管轄地域における対日理解の促進や親日層の形成を目的として、外交活動の一環として開催する日本文化の発信事業。現地のニーズを踏まえ、様々な事業を実施。平成28年度は967件実施。



ドイツ・ハンブルク  
「第18回ハンブルク日本映画祭」  
(平成29年5月)

ハンブルク市内の3つの映画館において、「シン・ゴジラ」、「この世界の片隅に」、「ハーモニー」等、2015年以降の新作映画約70本を上映。5日間で約2700人が鑑賞し、現地メディアでも報じられた。



タイ・チェンマイ  
「タイ北部巡回アニメ映画祭」  
(平成29年7月)

日本映画を見る機会の少ない遠隔地の児童約1000人を対象に、日本のアニメ映画の上映会を実施。上映に際し、日本文化紹介を併せて行うことで、将来の二国間関係の担い手となる若年層の対日理解の促進及び親日感の醸成を図った。



米国・サンフランシスコ  
「第5回サンフランシスコ日本映画祭」  
(平成29年9月)

西海岸最大規模のJ-POPカルチャー紹介イベントである「J-POPサミット・フェスティバル」のメイン企画の一つとして開催。「花戦さ」、「湯を沸かすほどの熱い愛」、「団地」を上映。多数の現地メディアで報じられた。

# 国際交流基金事業

外務省が所管する(独)国際交流基金では、専門性やネットワークを活かしつつ、展覧会、音楽、舞台芸術等の大規模な海外公演、日本映画上映、様々な分野の専門家の海外派遣等を実施。



## 日本・アジア 東京国際映画祭との連携交流事業 (平成26年度より)

アジア映画紹介部門設置、アジアの映画関係者や映画バイヤー・セラーなどの招へいによる交流促進、特別賞の授賞、アジア3か国の監督によるオムニバス映画制作等、多面的な交流事業を実施。

## アジア・大洋州 JFF(Japanese Film Festival :日本映画祭) アジア・パシフィック ゲートウェイ構想 (平成28年度より)

アセアン諸国及び大洋州地域を主対象とし、日本映画への興味・関心を喚起して鑑賞者数を増加させ、日本映画のプラットフォームを強い集客力を持つものへと成長させる。対象国の日本映画祭のネットワーク強化、ファン参加型PRイベント実施、オンラインプラットフォームなどを連動させ、日本映画市場の活性化実現を目指す。

## 中国 日中国交正常化45周年記念映画交流事業 (平成29年度)

日中国交正常化45周年を記念し、日本映画を中国各都市にて上映、日本映画ファンを増やす。5月に広州で『第1回日本映画広州上映ウィーク』を実施12月には上海・深セン・昆明で『日本映画新作上映』を行う。さらに平成30年3月に中国映画を紹介する『電影2018』を東京・大阪・名古屋で開催し、映画を通じた相互の交流を図る。



# 放送コンテンツを活用した発信

国際交流基金の放送コンテンツ等海外展開支援事業を通じて、商業ベースでは日本コンテンツが放送されない国・地域を中心に、日本のドラマ、アニメ、ドキュメンタリー、映画、バラエティ等の無償提供を行う(平成26年度補正及び平成27年度補正にて予算措置。平成26年度補正予算:30.35億円,平成27年度補正予算:25.03億円)。

- ・120か国・地域に延べ1,734番組を提供 (平成26年度補正、平成27年度補正、2か年合計)
- ・平成28年度末までに67か国・地域で延べ340番組が放送開始, 推定視聴者数2億人以上 (初回放送分)
- ・中南米、アフリカ、大洋州島嶼国を中心に、ドラマ、アニメ、ドキュメンタリー等を順次放送中



- ・対日理解促進, 親日感の醸成
- ・将来的な商業取引への基盤作り

## <提供番組例>

新海誠監督アニメ映画  
「秒速5センチメートル」  
(コミックス・ウェブ・フィルム)

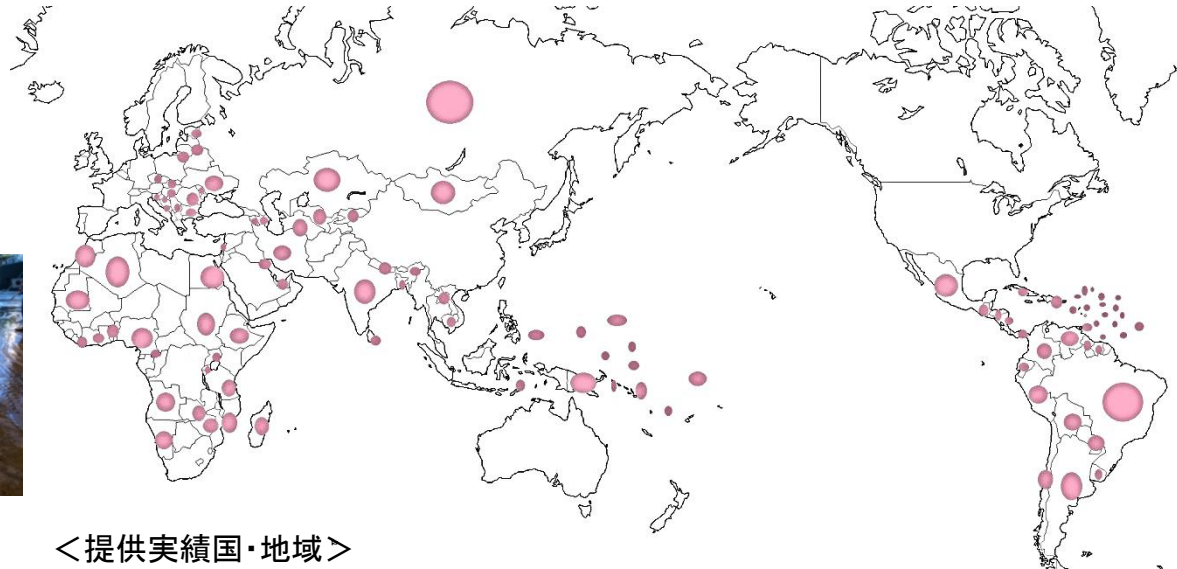


(c) Makoto Shinkai / CoMix Wave Films

ドキュメンタリー  
「PRIDE FISH from JAPAN!」  
(山陰中央テレビジョン)



(c) 2015 SAN-IN CHUO TV



## <提供実績国・地域>

メキシコ、ベネズエラ、ジャマイカ、キューバ、タンザニア、ザンビア、エチオピア、カザフスタン、ハンガリー、セルビア、マーシャル、モンゴル等

# 「文化のWA(和・環・輪)プロジェクト～知り合うアジア～」概要

平成25年に開催された日・ASEAN特別首脳会議において、安倍総理が表明した「文化のWA(和・環・輪)プロジェクト～知り合うアジア」に基づく各種交流事業を実施(※)

\* 平成25年度補正予算により政府開発援助アジア文化交流強化事業費補助金200億円が一括交付。2020年までの7年間の予算に充当。

国際交流基金内に設立されたアジアセンターを中心として、「日本語パートナーズ」派遣事業、芸術・文化の双方向交流事業を実施

## 日本語学習支援事業

平成32年(2020年)までの7年間で3,000人以上の日本人をASEAN諸国の教育現場に派遣し、現地の日本語教師と学習者のパートナーとし、授業の補佐や教室内外での日本語や日本文化の紹介活動等、各国の日本語教育支援を行うと同時に、派遣者自身も現地の言語や文化を学び、相互理解を深め、各国との交流の拡大を図る事業。



## 芸術・文化の双方向交流事業



**JFA×Jリーグ連携サッカー交流**  
2020年の東京オリンピック・パラリンピックを視野に入れサッカーを通じた交流を実施。



©2017TIFF

**東京国際映画祭との連携交流事業**  
アジア映画の紹介、アジア映画人の交流促進、特別賞の授賞等、多面的な交流事業を実施し、相互理解を深め、アジアの才能を世界に発信。



**「HANDs! -Hope and Dreams Project!-」**  
インドネシア、タイ、マレーシア、フィリピン、ミャンマー、カンボジア、日本等から選抜された若手リーダーが、防災教育に取り組む交流・研修事業。



# 「文化のWA(和・環・輪)プロジェクト～知り合うアジア～」

芸術文化の双方向交流事業～文化芸術・知的交流分野における協働作業と成果発信(映像部門)

## <事業例>

### ■ アジアセンター×東京国際映画祭 アジア映画交流事業(継続中)

アジア最大級の国際映画祭との連携

アジアの映画交流プラットフォームを強化・発展

#### ➤ アジア部門「CROSSCUT ASIA」新設

第1回「魅惑のタイ」特集, 第2回「熱風! フィリピン」特集, 第3回「カラフル! インドネシア」特集  
第4回「ネクスト! 東南アジア」

#### ➤ アジア各国から計100名程度の映画関係者を招聘

#### ➤ 「アジアの未来」部門 国際交流基金アジアセンター特別賞創設

第1回 ソト・クォリーカー監督(カンボジア)受賞 → 多数の国際映画祭に招待, 日本で公開上映

第2回 デグナー(徳格娜)監督(中国)受賞

第3回 アランクリター・シュリーワースタウ監督(インド)受賞

第4回 藤元明緒監督(日本)受賞

#### ➤ アジア・オムニバス映画製作シリーズ「アジア三面鏡」

第1弾「アジア三面鏡2016:リフレクションズ」 → 第29回東京国際映画祭(平成28年)でワールドプレミア上映

第2弾 第31回東京国際映画祭(平成30年)でワールドプレミア上映予定

